

平成 26 年度 妙高市教育研究会図画工作・美術部会活動報告

部長 阿部 勉 (斐太南小)

1 研究主題

妙高の地域や豊かな自然とかかわりながら、描くことやつくること、見ることを通して感性をはぐくむとともに、豊かな表現力を育てる。

2 研究の概要

- (1) 山や川などの自然のよさや地域素材を生かして、描く、つくる、見るなど様々な実践を通して感性を養い、思いを伝える表現力を育む。
- (2) 児童生徒が豊かに表現する授業実践についての情報交換（授業参観、講話等）を通して、自己の取組を見直し、授業力の向上を図る。

3 研究の実際

- (1) 「思いを伸ばし、広げる表現の在り方」を学ぶ

- ① 期 日 9月22日 (月)
- ② 会 場 妙高市立斐太南小学校
- ③ 講 師 白百合女子大学講師 海老名智子様
- ④ 内 容 師範授業、講話

○1～6年生の全学級で師範授業を行った。

1・2年生は、「学校生活で楽しかったこと」をテーマにした絵画の導入指導。3・4年生は、「総合学習で心に残ったこと」をテーマにした絵画の構図指導。

5・6年生は、下絵を元にした構図指導および絵画の最終仕上げ指導である。発達段階に応じた指導のポイントを具体的な授業を通して学ぶことができた。

○放課後、「子どもの思いをより伸ばし、広げる表現の在り方」と題して、豊富な実践例をもとに講話をしていただいた。「子どもの感じたことを引き出すこと」「子どものよいところを見ること」「丁寧に見取り、ある程度の丁寧さを大事にすること」等、表現指導における基本を学ぶことができた。



- (2) 「かかわる かわる つなぐ 造形教育」を考える

- ① 期 日 11月13日 (木)
- ② 会 場 妙高市立新井中学校
- ③ 内 容 公開授業、協議会、研究提案

○1年3組 「生活をデザインする～生活をよりよくするアイデアを考えよう～」

○自分の生活や身近な環境に目を向け、問題点を改善していこうとする過程で、デザイン行動の意義を感じ、イメージし表現していく力を高めることをねらった单元である。本時では、身近に使われているロゴタイプの鑑賞をきっかけにして、自分が考案する素材のアイデアスケッチを行った。イメージマップを使ったり、友達とアイデアを交流したりしながら真摯に表現する子どもの姿が見られた。

○本研修会は、第30回県美大会プレ大会を兼ねて開催した。公開授業、及び研究部の研究提案を通して、「造形活動がもつ生活や社会を変えていく力を、いかにして子どもに実感させられるのか」「主体的に表現活動を行うための指導・支援の在り方」等を考えることができた。

4 成果と課題

小学校での師範授業と中学校の公開授業を通して、部員が日々の自分の授業実践を見直すことができた。特に、「表現の意義」「小・中それぞれの段階の表現指導のポイント」を学ぶことができた。今後も、地域素材にかかわりながら感性を磨き、表現力を豊かにしていく指導法を探っていく。